

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(翻訳) Gehen Verstehen 日本語タイトル: 観察による歩行分析)	共訳 (主 担当)	2005年6月発行	医学書院	原著はドイツ語。理学療法士で観察による歩行分析インストラクター協会の会長である Kirsten Goetz-Neumann によって書かれた歩行理解のための専門書。正常歩行のバイオメカニクスから異常歩行の詳細、そして観察による歩行分析について詳しく紹介。翻訳主担当。 山本澄子先生（国際医療福祉大学大学院）、江原義弘先生（新潟医療福祉大学）、盆子原秀三先生（両国リハビリテーション専門学校）と共に内容の確認と修正。
2	(翻訳) Biomechanik, Bewegungslehre, Leistungsphysiologie, Trainingslehre 」(日本語タイトル: 実践に生かす歩行分析	共訳 (主 担当)	2016年10月発行	医学書院	原著はドイツ語。整形外科・リハビリテーション医の Dr. Wolfgang Laube によって書かれた生理学に関する専門書。
3	(製品開発) 多軸膝継手の開発と商品化	主担当	2014年11月完了	オットーボック	コンピューター制御に頼らない歩行スピード追従機能を発案、開発／商品化プロジェクトを立ち上げ、試作と試験を繰り返し商品化した。平成16年11月の日本義肢装具学会学術大会で商品化モデルを発表。平成17年製品として発売される（商品名：オットーボック3R106）。平成18年より同社の主力製品として販売台数を維持。同年より世界中でリリースされる。
4	(製品開発) 高機能イールディング膝継手の開発と商品化	主担当	2022年3月完了	今仙技術研究所	今仙技術研究所とともに、コンピューター制御に頼らない軽量・コンパクト・低価格・高機能イールディング膝継手の仕組みを発案し開発。試作と試験を繰り返し商品化した。 2022年4月から発売される（今仙技術研究所 MCK モーションコントロールニー）。